

Mariko Senju Violin Recital

2020年、デビュー45周年を迎える千住真理子は、初のベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ全曲録音に挑むなど、その練り上げられた表現と輝かしい音色に益々磨きをかけ、今、さらなる高みへと向っています。

300年の時を超えてなお美しく響く、愛器ストラディヴァリウス“デュランティ”と共に、千住真理子が奏でる名曲の数々をお楽しみください。

千住 真理子 Mariko Senju, Violin

2歳半よりヴァイオリンを始める。全日本学生音楽コンクール小学生の部全国1位。NHK交響楽団と共演し12歳でデビュー。日本音楽コンクールに最年少15歳で優勝、レウカディア賞受賞。パガニーニ国際コンクールに最年少で入賞。慶應義塾大学卒業後、指揮者故ジュゼッペ・シノーポリに認められ、87年ロンドン、88年ローマデビュー。国内外での活躍はもちろん、文化大使派遣演奏家としてブラジル、チリ、ウルグアイ等で演奏会を行う。また、チャリティーコンサート等、社会活動にも関心を寄せている。

1993年文化庁「芸術作品賞」、1994年度村松賞、1995年モービル音楽賞奨励賞各賞受賞。

1999年2月、ニューヨーク・カーネギーホールでのウェル・リサイタルホールにて、ソロ・リサイタルを開き、大成功を収める。

2002年秋、ストラディヴァリウス「デュランティ」との運命的な出会いを果たし、話題となる。

2015年はデビュー40周年を迎え、1月にイザイ無伴奏ソナタ全曲「心の叫び」、2月にはバッハ無伴奏ソナタ&パルティータ全曲「平和への祈り」をリリース、両作品ともレコード芸術誌の特選盤に選ばれた。2016年は、300歳の愛器デュランティと共に奏でるアルバム「MARIKO plays MOZART」をリリース。またプラハ交響楽

団、ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団と各地で共演。2017年はブラームス没後120年記念「ドラマティック・ブラームス」をリリース、また全国でスーク室内オーケストラとツアーを行い、好評を博した。

2019年はベートーヴェン生誕250周年に先駆け、ピアニストの横山幸雄と「ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ全集」をリリース。2020年はデビュー45周年を迎える。

コンサート活動以外にも、講演会やラジオのパーソナリティを務めるなど、多岐に亘り活躍。著書は「聞いて、ヴァイオリンの詩」（時事通信社、文藝春秋社文春文庫）「歌って、ヴァイオリンの詩2」「ヴァイオリニストは音になる」（いずれも時事通信社）「ヴァイオリニスト 20の哲学」（ヤマハミュージックメディア）母との共著「母と娘の協奏曲」（時事通信社）「命の往復書簡2011~2013」（文藝春秋社）「千住家、母娘の往復書簡」（文藝春秋社文春文庫）など多数。

千住真理子オフィシャル・ホームページ <http://www.marikosenju.com/>



山洞 智 Satoshi Sando, Piano

4歳からピアノを14歳から作曲を学ぶ。1993年東京芸術大学大学院修了。90年大学より安宅賞受賞。91年第60回日本音楽コンクール作曲部門首位、あわせて安田賞受賞。その後フランス政府給費留学生として渡仏。パリ国立高等音楽院にてさらに研鑽を積む。

作曲と演奏の双方にわたり活動を展開、また両者をつなぐ新曲の初演も多数。ピアニストとしては独奏以外でも、とくに室内楽分野で内外のトップアーティストの共演者として



絶大な信頼を寄せられている。97年8月に帰国。98年8月には国際交流基金派遣で南米ブラジル、アルゼンチンの各地まで演奏旅行にでかける。

現在、東京音楽大学准教授、東京芸術大学非常勤講師。

最新アルバム！4月15日発売！



ベートーヴェン生誕250周年記念。
悠久の時を超えて名器デュランティが奏でるベートーヴェンの世界！

ベートーヴェン：
ヴァイオリン・ソナタ全集Vol.2

ヴァイオリン：千住真理子 ピアノ：横山幸雄
CD:UCCY-1104/5 ¥3,850 (税込) ユニバーサルミュージック
■Disc1/第4番イ短調、第5番ヘ長調「春」、第6番イ長調
■Disc2/第7番ハ短調、第8番ト長調